

令和8年度 所沢市立小手指中学校グランドデザイン

小手指中学校合言葉チーム小手指&小手中魂～子供が主役 体育祭・合唱祭・三送会～

- 生徒の実態 ○保護者の願い
- 教師の願い ○地域の願い
- 国・県・市の重点施策が基盤
- CS目標 挨拶・防災・貢献

《目指す学校像》

創立80周年 生徒の手で三大行事を創り上げる学校を目指す



小手指中学校の校章は、平和のシンボルである鳩の中に小手指の「小」の字を配し、鳩が羽を広げて「中」の字を持ち上げている様子をあらわしている。

校章の形状は小手指中が隣接している北野天神社の紋所（もんどころ）である『梅鉢（うめばち）』の形に由来する。

校章のデザインは、昭和23年度卒業の大館武能先輩の図案をもとに作成された。

学校教育目標 主体的にたくましく生きる生徒

主体性:自分で考え、自分で判断・行動し、自分で責任を持つ力
たくましさ:変化の激しい現代社会を強くたくましく生き抜く力
(知)自ら学び、正しく判断できる生徒
(徳)自主的で、協調性のある生徒
(体)心豊かに、たくましい生徒

自分力の発見
Discover my
Potential

《目指す教師像》

新しい時代を見据えた教育の創造と実践に全教職員で邁進する

- 教職員としての使命感責任感を持つ
- 専門性と尊敬される人間性を磨く
- サービスの厳正と職務の責任ある遂行
- ライフステージに応じた役割を果たす

チーム小手指とは、情熱・授業力・社会性を持ち、生徒の幸福を第一に考える教師集団のこと。

小手中魂（こてちゅうだましい）

小手指中学校の生徒が、困難に立ち向かう時の心の働き（精神）のことである。

困難を乗り越えることで、自分の弱さに打ち克ち、自分の限界に挑戦し、自分自身を成長させることができる。

小手中魂を磨き、高めることは、「本気で全力で取り組む」「自分の持っている力を全部出さける」「仲間を信じて最後までやり抜く」「仲間を励まし、ともに困難に立ち向かう」ことである。

《経営理念》

清新で魅力ある学校づくりを推進し、
子供の幸福を第一と考えるコミュニティを創る

「清新で魅力ある学校」とは新しさやさわやかさが感じられ、自然と人が集まり「この学校に来てよかった」「もっと学び成長したい」と思える学校である。学校の使命は、生徒の持っている能力や可能性を最大限に引き出して伸ばすところであり、安全で安心して生活できる場でなくてはならない。

CS会議三つの柱「あいさつ」「家庭・地域・学校との関わり」「地域防災」

《教育目標実現に向けた重点》

Keyword 『共に～Together～』

〔共学・共助・共生の小手中〕

「共に～Together～」とは、みんなで、一緒にという意味。孤立や差別、分断することなく、皆で協力し合うことの大切さをすべての教育活動で伝えていく取組。

教育目標の具現化を目指し、全教職員が相互信頼と共通理解・行動を基調として、全ての子供にとって、小手中に通ってよかったと思える学校づくりに、総力を結集して取り組む

創立80周年記念事業 キャッチ募集（生徒会）
共に学び、共に生きる～80年のその先へ

令和8年度の重点目標と具体的方策

1 確かな学力の育成（知）

主体的な学びの実現 基礎的な知識・技能を習得し、これらを活用して、思考力・判断力・表現力を育み、主体的に学習に取り組む態度を養う※ICTを活用して

2 豊かな心の育成（徳）

生徒が主役 生徒が「主体的に小手指中を創り出す」教育の充実を目指す 学校風土の見える化 不登校、いじめ等の課題に向き合い、未然防止の土壌を醸成する

3 健やかな体の育成（体）

体育授業の充実、体力運動能力の向上と健康で充実した生活の土台を作る 部活動の地域移行への道筋を示す

4 安全安心な学校づくり

生徒の生命と人権を第一に考え、危機管理意識を高め安全安心な学校を創る 報連相の徹底 組織で対応 多様性を尊重し、インクルーシブ教育と異文化理解教育の推進

5 教員の資質・能力向上

（仮説）学校風土が改善されれば、いじめ・不登校が減少し、学力が向上する（実証の年）

【生徒指導】学校風土調査等実施によるいじめ・不登校未然防止プログラムの研究

SSR（スペシャルサポートルーム）の設置校